

# 平成31年3月市議会定例会より

## 工藤市長の一般行政報告

2月28日から14日間の会期で開催された市議会定例会では、初日の一般行政報告をはじめ、3月補正予算、新年度予算の審議などが行われました。



て、床面積4834平方メートルで、自然光をふんだんに採り入れる造りのほか、外断熱構造による燃料費の節減や、LED照明、節水型衛生器具を採用し、省エネルギーで環境にやさしい施設整備を行いました。また、災害時でも水が使えるように、耐震性の高い水道配水管から、給水管を引き込んでいるほか、玄関スロープや、ゆるやかで広い階段、教職員が子どもを見守りやすい、死角の少ないレイアウトなど、安心で安全な学校生活を過ごすことができるようにしています。

### 今年の稚内空港の夏季ダイヤについて

1月23日、全日本空輸が、稚内空港における、本年3月31日から10月26日までの、上期運航計画を発表したところです。



稚内空港

加する見込みとなっており、次に、全国の地方空港からチャーター便を就航していただいている、「フジドリームエアラインズ」(通称FDA)からは、本年においても、昨年と同程度の就航期間・便数を、運航したい旨のお話しをいただいています。

の観光客に味わっていただき、また、市民の皆さんにも雪や寒さに親しんでいただくため、2月に冬のイベントを集中させて、市はもとより、各団体や関係者の皆さんに設営や運営などにご協力いただけてきたところです。

2月1日から1か月間開催している、「宗谷ふれあい公園スノーランド」をはじめ、9日、10日には、北防波堤ドーム公園において開催された「わかかない氷雪の広場」、さらには、23日、24日には、大沼特設会場において、「第36回全国犬ぞり稚内大会」が開催されました。



白熱した全国犬ぞり稚内大会

新体育館を含めた、総事業費約24億1千万円の南小



完成した稚内南小学校

### 稚内南小学校校舎の完成について

旧稚内南小学校校舎は、昭和38年に建設され、その後の高度経済成長のもとで児童の急激な増加に対して、度重なる増改築により対応してまいりましたが、老朽化もさることながら、近年、自然災害が多発していることから、子どもたちの安全を守るため、早急な耐震化が求められてきたところで

平成25年度に実施した耐力調査により、改築の目途がたつたことから、平成26年度に基本設計、平成27年度に実施設計、そして平成28年度から2力年にわたって、まず、新体育館を建設しました。

今回完成した新校舎は、一昨年6月から建設に着手し、昨年12月に引渡しを受け、早速、二学期が始まりました、1月17日から供用を開始しました。

供用された新校舎棟は、鉄筋コンクリート造3階建

### 冬季イベントの開催状況について

本市の冬の魅力を、多く

PR活動の効果もあり、期間中は、雪不足や記録的寒波に見舞われましたが、昨シーズンと比べ、約2千人多い、3万3千人の観光客や市民で賑わいました。

また、冬のまち歩きを楽しんでいただく、市街地の周遊コースとして、2月15日から、副港市場において開催している「稚内サハリン館」や、冬期間も臨時開館している「旧瀬戸邸」などには、昨年よりも400人多い、約2千人にご利用いただいています。



大盛況だった稚内サハリン館

今後、これらの冬季イベントについては、内容の充実にも努め、稚内ならではの魅力ある事業を展開しながら、より多くの人を呼び込むことができるよう努めてまいりたいと考えています。